

ロングヴィーダの研究成果が、2019 年栄養学調査プロジェクト賞受賞！！

株式会社オムニカ（代表取締役社長：高尾久貴/所在地：東京都文京区小石川 1-15-17 TN 小石川ビル 5F）にて販売されているクルクミン含有ウコン製剤ロングヴィーダ（LongVida）に関する研究成果が、「The 2019 NutraIngredients-USA Awards」を受賞しました。その研究成果は、「Retinal Amyloid Pathology and Proof-of-Concept Imaging Clinical Trial in Alzheimer's disease」という論文にて発表されています。

受賞した研究のポイント

1. ロングヴィーダは、最も多くのクルクミンが脳に到達するウコン製剤である！
2. ヒトの網膜へのアミロイドベータ (Aβ) 沈着をロングヴィーダ経口摂取によって可視化することで、非侵襲的かつ低コストにアルツハイマー病 (AD) 発症のリスク度を評価できることを示した、革新的な技術研究である！
3. 査読付き論文に基づく成果である！

研究概要

アミロイドベータ (Aβ) の沈着は、アルツハイマー病 (AD) の特徴の 1 つであり、症状が発現する 20 年以上前から始まるとされている。さらに、網膜の Aβ 量は、脳の Aβ 量を反映していることが分かっている。また、クルクミンは蛍光を発し、かつ Aβ と強い親和性を持っているため、脳内でクルクミンが Aβ と結合し強い蛍光を示す。そして、ロングヴィーダは、他のどのウコン製剤よりも多くのクルクミンが脳へ到達することが明らかとなっている。これらのことから、網膜イメージング研究にロングヴィーダが採用された。試験では、健常者 (n=6) および AD 患者 (n=10) にロングヴィーダを 2~10 日間摂取させ、改良された検眼鏡で摂取前と摂取後の網膜における Aβ 沈着の蛍光強度を測定し比較した。

その結果、ロングヴィーダ摂取前 (Baseline) よりも摂取後は強い蛍光を示した (図 1)。また、健常者と AD 患者の結果を比較すると、AD 患者で有意に Aβ 沈着が多くみられた。

Aβ の脳イメージングは現在利用可能であるが高価で、しかも侵襲的であり、放射線への曝露まで必要とする。しかしながら、網膜イメージングは低コストで非侵襲的な検査方法であり、将来的には一般的な眼の検査同様の手軽さで AD のスクリーニングができる可能性を秘めている。

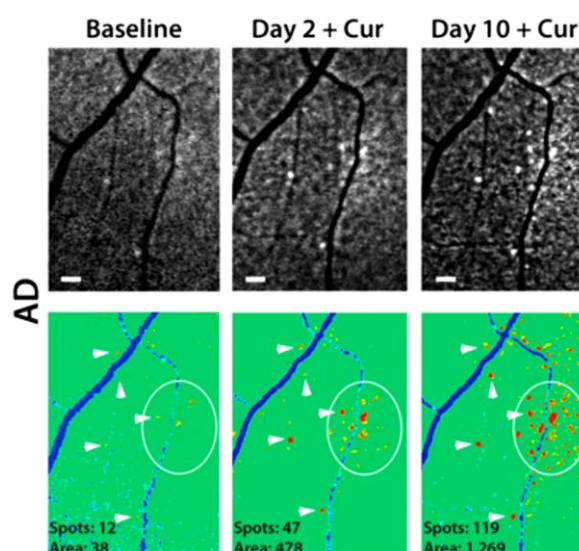


図 1：AD 患者の網膜イメージング画像
ロングヴィーダ摂取後に蛍光が強くなっている。

※画像転載を禁じる。

* 本件に関するお問い合わせ先 *

株式会社オムニカ：毎熊、岩田 TEL：03-5840-9811 FAX：03-5840-9812

<http://www.omnicare.co.jp>